

# 情報ネットワークセンター・<sup>いのち</sup>生命の海科学館概要

情報ネットワークセンター・生命の海科学館は、郵政省の自治体ネットワーク施設整備事業の補助を受けて建設された施設です。高度情報化社会において行政が積極的に情報通信基盤を整備し、地域の振興・発展につなげるために地域住民が平等に情報を入手・処理・発信できるよう、その中核となる施設として建設されました。

蒲郡情報ネットワークセンターの4つの目的は、以下のとおりです。

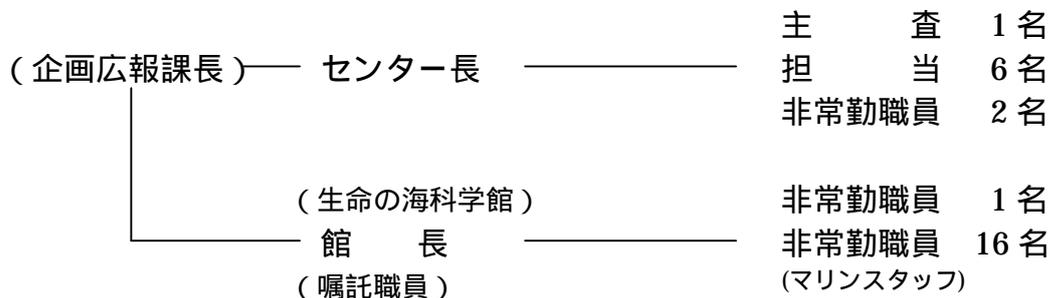
高度で決め細やかな行政サービスの実現

教育・学習の情報化

産業の情報化支援

情報化普及・情報機器のショールームとしての「生命の海科学館」の活用

## 1 機構



### ・マリンスタッフ

受付案内・PC の操作方法の案内、展示室での解説、ミュージアムシアターでの演出・解説

(1)時給 1,020 円

(2)年間の開館日数 365 日 - 11 日(定休日) - 4 日(年末) = 350 日

繁忙期(土日祝、夏休み、GW、正月)

朝 8:55 ~ 12:55(4h) 5人

昼 12:50 ~ 17:20(4.5h) 5人

夜 17:15 ~ 21:15(4.0h) 1人

平日( 上記以外) 202 日

朝 8:55 ~ 12:55(4h) 4人

昼 12:50 ~ 17:20(4.5h) 4人

夜 17:15 ~ 21:15(4.0h) 1人

(3)勤務体制

1 人一日 4 時間勤務の 3 交代制

繁忙期 = 朝昼 5 人 ( 1 階受付 = 2 人、 3 階受付・ 3 階展示室・ 3 階シアター = 各 1 人 )、夜 1 人 ( 1 階受付 )

平日 = 朝昼 4 人 ( 1 階受付 = 1 人、 以下は繁忙期に同じ )、夜 1 人

## 2 建築概要

- ・ 敷地面積 5562.15 m<sup>2</sup>
- ・ 建築面積 2632.17 m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 3281.08 m<sup>2</sup> 1F 1895.93 m<sup>2</sup> 2F 113.49 m<sup>2</sup> 3F 1271.66 m<sup>2</sup>
- ・ 規模構造 地上3階建 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- ・ 設計期間 平成8年9月～平成9年3月
- ・ 施工期間 平成9年7月～平成10年9月
- ・ 総事業費 32億1000万円
  - 補助対象事業費 25億1000万円
  - 内訳 建設整備費 16億8000万円
  - システム整備費 7億円
  - その他整備費 8億3000万円
  - 財源 国庫補助金 8億3700万円
  - 県補助金 2億4600万円
  - 地方債 7億8500万円
  - 一般財源 13億4200万円
- ・ 開館 平成11年7月20日

## 3 利用案内

- ・ 開館時間 9:00～21:00（科学館 9:00～17:30）
- ・ 開館日 1月1日～12月27日（毎月第2火曜日休館、ただし8月は無休）
- ・ 施設案内（一般向け施設）
  - (1)情報研修室 4時間以下1,000円、4時間超過2,000円  
（営利・商業宣伝での使用は、10倍）  
市民向けのパソコン講座や企業・サークルなどのパソコン研修会などに利用できます。利用定員は18名で、パソコンの基礎から高度な技術まで習得できます。
  - (2)メディアホール 4時間以下3,000円、4時間超過6,000円  
（営利・商業宣伝での使用は、10倍）  
情報機器を使って、会議・講演会・研修会などに利用できる定員100名のホールです。
  - (3)生命の海科学館 大人：個人700円、団体500円  
小人：個人300円、団体200円  
（団体は30名以上）  
生命の海科学館は展示物ごとに端末（コンピュータ）が配置されており、子供からお年寄りまで気軽に触れるように設計されています。端末を使うという世界でも珍しいタイプの科学館となっており、お客様が科学館側から与えられた資料をただ見るという受け身型の科学館ではなく、お客様自身が操作盤に触れていくつもある選択肢を自ら選択していく、お客様本位の科学館

です。

世界的にも価値のあるカンブリア紀の化石群を豊富に取り揃えており、CG（コンピュータグラフィック）を大画面で見ることができます。

パソコンの操作によって展示物説明をご覧いただき、パソコンは決して難しいものではないことを理解していただき、また、受付で貸出をしているデジタルカメラを使い、館内撮影後に情報工房のパソコンを利用してオリジナルの写真を作成する等、ネットワークセンターと一体となって情報化推進の役割を果たす情報のショールームとして設置されました。

科学館シアターコンテンツ「Tangible Earth 触れる地球」

Global display/地球儀型ディスプレイ

地球儀表面に内側から、魚眼レンズつきのプロジェクターで全球画像を投影しています。地球儀を手でまわすと、センサーが感知したそのズレに応じて、新たな地球像を瞬時にコンピュータが描き出して投影します。そのため、実際に丸い地球を手でぐるぐる回しているようなアナログな実感値が得られます。

地球儀に投影されるコンテンツは、併設のタッチパネルで切り替えます。

#### (4)情報工房 無料

パソコンを使って、ペーパークラフトの印刷や無料貸出のデジタルカメラで撮影した写真のプリント、子供向けCDソフトの使用等ができます。また、インターネットによる地域情報の検索、プリントアウトができます。

#### (5)地域情報プラザ 無料

インターネットに接続されたパソコンが設置されており、1時間単位で使うことができます。

### 4 その他館内施設

#### ・施設案内（事務・研究室等）

##### (1)マシンルーム

各種サーバー装置が置かれ、市情報システム全体の心臓部となっている場所です。

また、科学館及び情報ネットワークセンター内の各装置もここで管理されています。

##### (2)多目的室

学校等団体入館者がオリエンテーション・学習を行ったり、イベントに使用したりするための多目的ルームです。

##### (3)視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーの事務室として使用し、教育用コンテンツの制作、資料収集を行っています。

(4)コンテンツ室

映像、その他素材等を編集、制作するための機器を設置しています。

配置図 (略)